

## 市原市認知症対策連絡協議会 第7回例会議事録

日時 平成27年(2015年)7月23日(木) 18時30分～21時00分

場所 市原市役所 3階 会議室 参加者 82名

### 1. 小沢義典会長挨拶

### 2. 【ミニ講演会】

医師会との連携について 千葉労災病院 小沢義典

市原市の医療機関 119施設、病院13施設

医師会を通じて認知症対応に関するアンケートを実施し、途中経過を一覧に整理。

各地域かかりつけ医の情報が更新されていないケースもあり、各会員からもアンケートの返信に関して働きかけをして貰いたい。

医師会との協議の上、一覧表は現段階では市認協への限定公開。一般への公開は未。

千葉労災病院の認知症疾患医療センターへの認定に関しては、県の審査は通過済み。

市原鶴岡病院の紹介 市原鶴岡病院 大森栄一

精神科急性期治療病棟40床、精神科療養病棟165床

相談室では、6名の精神保健福祉士が外来・入院問わず様々な相談に対応。障害年金や介護保険に関するアドバイス、入退院に関する情報提供、受診拒否に対する相談など。

日曜・祝日・年末年始を除く午前9時30分～午後4時30分

相談室直通電話 0436-78-5373

関連施設として特別養護老人ホームあじさい苑他と、連携をはかり地域医療に貢献している。

薬剤師の活動の紹介 ファークスだいした薬局 細川清史

近年、認知症高齢者における残薬の問題が深刻となっており、その額約400億円にも上ると言われている。薬が飲み込めない、飲む回数が多い、飲み方が複雑など理由は様々。このような問題に対し、薬剤師が直接患者様宅や入所施設を訪問し、個別に服薬指導を行う、訪問服薬指導が行われるようになった。薬の一包化、薬箱やカレンダー、剤型変更、製剤変更などその方に合った、飲み忘れ防止方法を提供している。ぜひ、近くの薬局に気軽に相談してほしい。市原市でも医師と連携をはかりながら、積極的に介入を行っていききたい。

### キャラバンメイトの活動について やさしい手京葉 山越篤史

キャラバンメイトは、認知症の方、その家族への応援者である認知症サポーターを養成し、認知症になっても安心して暮らせる街を目指すべく、養成講座の講師をつとめるなどの活動を行っている。

市原市は人口 280,340 名に対し、キャラバンメイト 103 名、サポーター7,143 名が在籍している。市原市ではキャラバンメイト連絡協議会を設立し、サイボウズツールを利用しながら情報を共有し、メイト間の連携を強化、レベルアップをはかっている。今後、さらに活動範囲を拡大し、サポーターのたくさんいる市原市を目指したい。

### 認知症ケアパスについて 市原市役所 亀山

新オレンジプランをベースに市原市の認知症ケアパスを整備中。

住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括システムの構築を目指し、引き続き取り組みを行っている。

## 3. 『認知症お役立ちガイド』の作成について

地域ごとに分かれて、ワークショップを実施。

- ・お役立ちガイドの対象

認知症の不安がある人、かなり初期の人が読みたくなるものを。

- ・専門的な情報、家族への情報は追加資料で作成

## 4. 今年度進めるべきプロジェクトについて 千葉労災病院 安田清

新たに進めるべきプロジェクトについて以下の提案があった。提案者から説明した後、全員に所属希望のアンケートを実施。

その結果は、次回例会で発表予定。

- ① 多分野連携プロジェクト
- ② 若年性認知症対策プロジェクト
- ③ 認知症サポーターの活動推進プロジェクト
- ④ 在宅介護者を支えるマニュアル作成プロジェクト
- ⑤ 認知症スクリーニングプロジェクト
- ⑥ 認知症スクリーニング実施講習プロジェクト
- ⑦ 若宮・辰巳台認知症モデル地区プロジェクト
- ⑧ 調剤薬剤師－病院－在宅ネットプロジェクト
- ⑨ 送迎プロジェクト
- ⑩ パソコン IT 支援隊プロジェクト
- ⑪ 新規プロジェクト検討プロジェクト

【次回は第8回例会 平成 27 年 10 月 15 日（木）五井会館】